

令和4年度事業評価集計（令和3年度令和4年度比較）

資料1

令和4年度 習志野市スポーツ推進計画 事業評価まとめ																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実績	取組み数	備考 (No.)																				
評価 (A)	18	3	5	7	8	9	10	11	18	23	24	31	32	33	34	38	39	40	41			
評価 (B)	19	1	2	4	12	14	15	19	20	21	22	28	29	30	35	36	37	42	44	45		
評価 (C)	3	13	17	26																		
中止した取組み (C)	3	6	16	27																		
実施年でなかった取組み	2	25	43																			
取組み数合計	45																					

評価A 40% 評価B 42% 評価C 7% その他（中止した取組み・実施年でなかった取組み） 11%

令和3年度 習志野市スポーツ推進計画 事業評価まとめ																						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
実績	取組み数	備考 (No.)																				
評価 (A)	6	7	8	32	34	38	39															
評価 (B)	7	4	21	26	33	37	42	43														
評価 (C)	21	1	2	3	5	9	10	11	12	13	14	15	18	19	22	23	28	29	30	31	36	45
中止した取組み (C)	9	6	16	17	20	27	35	40	41	44												
実施年でなかった取組み	2	24	25																			
取組み数合計	45																					

評価A 13% 評価B 15% 評価C 47% その他（中止した取組み・実施年でなかった取組み） 25%



習志野市スポーツ推進計画 事業一覧

No.	取組名	担当課
1	スポーツ推進委員の活動への支援(スポーツ奨励大会の開催含む)	生涯スポーツ課
2	市民スポーツ指導員の地区活動実施と支援	生涯スポーツ課
3	スポーツ協会・スポーツ少年団への支援(市民総合体育大会含む)	生涯スポーツ課
4	スポーツ施設の管理・運営	生涯スポーツ課
5	総合型地域スポーツクラブへの活動支援	生涯スポーツ課
6	トップチームやアスリートとの地域交流事業の推進	生涯スポーツ課
7	スポーツエキスパート推進事業(部活動支援事業)	指導課
8	体力・運動能力の向上に向けた指導の推進	指導課
9	「遊・友スポーツランキングちば」への参加の奨励	指導課
10	毎日楽しく体を動かす遊びの推進	こども保育課
11	家庭・保護者との連携・推進	こども保育課
12	地域・ボランティアとの連携・推進	こども保育課
13	・2,3歳児親子教室 ・4,5歳児グループ活動	ひまわり発達相談センター
14	幼児家庭教育学級	中央公民館
15	親と子のふれあい講座	中央公民館
16	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課
17	市内障がい者スポーツ大会の開催	障がい福祉課
18	寿学級の活動	中央公民館
19	あじさいクラブ連合会(老人クラブ)主催各種スポーツ大会への支援	高齢者支援課
20	高齢者スポーツ大会の開催	高齢者支援課
21	一般介護予防事業	健康支援課
22	てんとうむし体操の推進	高齢者支援課
23	ニュースポーツ用具の貸出	生涯スポーツ課
24	市民スポーツ指導員養成講座の実施	生涯スポーツ課
25	体力・運動能力測定事業の実施	生涯スポーツ課
26	健康づくり推進協議会主催「習志野発見ウォーク」の開催	健康支援課
27	健康なまち習志野推進月間の実施	健康支援課
28	健康に関する講座	中央公民館
29	市内で活動しているトップチーム等の試合開催の支援	生涯スポーツ課
30	オービックシーガルズへの協力・支援	産業振興課
31	スポーツ大会、イベントの情報発信	生涯スポーツ課
32	ツイッターを利用した情報発信	生涯スポーツ課
33	転倒予防体操推進員の育成・活動支援	高齢者支援課
34	健康づくり推進員の育成・活動支援	健康支援課
35	大学との連携協働による健康なまちづくりの推進	健康支援課
36	学校体育施設(プール含む)の開放	生涯スポーツ課
37	公共建築物再生計画の実施	生涯スポーツ課
38	スポーツ振興協会への活動支援	生涯スポーツ課
39	健康マイレージの実施	健康支援課
40	スポーツ団体等による市民まつりにおけるスポーツコーナー運営支援	生涯スポーツ課
41	千葉ロッテマリーンズへの協力・支援	生涯スポーツ課
42	施設予約システムの充実	生涯スポーツ課
43	東京2020オリンピック・パラリンピック関連施策の実施	総合政策課
44	スポーツボランティア活動の場や情報の提供	生涯スポーツ課
45	ウォーキング等の環境の整備	公園緑地課

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	1	取組名	スポーツ推進委員の活動への支援 (スポーツ奨励大会の開催含む)				担当課
							生涯スポーツ課
概要	誰もが気軽にスポーツに参加できる機会をつくるため、スポーツ推進委員連絡協議会と連携をとってスポーツ奨励大会を年5回開催する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進	柱②	みるスポーツの推進	柱③	支えるスポーツの推進	
	■施策1 ■施策2 ■施策3 ■施策4 ■施策5		□施策6 □施策7 □施策8		■施策9 ■施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します	施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します	施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します	
目標	スポーツ推進員とともに奨励大会や参加しているスポーツ事業を広報やHP等にて情報発信し、より多くの市民にスポーツに興味を持たせ、奨励大会へ参加することを目指し、参加者の人数を増加させます。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値 (令和元年度)	最終目標値 (令和7年度)		
大会参加人数		人数が増えていけば進捗している		1,233人	1,500人		
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		1,250人	1,300人	1,350人	1,400人	1,500人	
実績値	—	—	510人				
決算額 (参考)	—	—	—				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、奨励大会を実施することができなかった。しかし、スポーツ推進委員の活動内容について広報誌やHP等での周知を図った。			新たな大会の在り方を検討し、3密を避けた開催・運営が可能か検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度も奨励大会を実施することができなかった。			
課題	来年度以降については、新しい生活様式に合わせて新たな大会の在り方を検討し、3密を避けた開催・運営が可能か検討した上で、更なるスポーツの推進を図っていく必要がある。			2年間のブランクからの脱却として、新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、奨励大会を一つでも二つでも計画、実施していく必要がある。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、奨励大会4大会を実施することができた。【歩け歩け大会(82人)、ニューススポーツフェスティバル(150人)、パークゴルフのつどい(123人)、コミュニティバレーボール大会(155人)】						
課題	奨励大会は再開したが、感染防止の観点から「密対策」と会場のスムーズな運営を考慮し、人数制限を行いながら再開したため、参加者数を伸ばせなかった。次年度以降「密対策」は解除されるが、実施会場の収容人数や当日運営にあたるスポーツ推進委員の人数の関係もあり、現状の行い方では参加人数を無制限には増やせない。運営方法の見直しや種目の選定等も改めて見直す必要がある。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	2	取組名	市民スポーツ指導員の地区活動実施と支援				担当課			
							生涯スポーツ課			
概要	スポーツの普及・振興や、スポーツレクリエーションを通じたコミュニティ活動の推進を図るため、市内16地区で年間2事業以上のスポーツ活動の実施を、市民スポーツ指導員連絡協議会に委託し、その事務局として活動を支援する。 また、指導員の資質向上を図るため、研修会を実施している。									
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進		
	■施策1 ■施策2 ■施策3 ■施策4 ■施策5		■施策6 □施策7 □施策8				■施策9 ■施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します		
目標	市民スポーツ指導員の活動を広報やHP等にて情報発信し、より多くの地域住民の参加を目指した地区活動を推進します。									
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）			
地区事業参加人数		増えていけば進捗している			11,492人		12,500人			
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		5,000人	11,500人	11,800人	12,100人	12,500人				
実績値	2,680人	2,670人	5,342人							
（決算額）	922,460円	492,102円	972,000円							
評価		C	C							
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満									
成果	令和2年度			令和3年度						
	感染症対策を講じるため、屋外スポーツを中心とした18事業の実施（R1年度実績：81事業）となった。コロナ禍における「市民スポーツ指導員地区活動のルール」作成や感染症対策に必要な消毒用アルコール等の購入など、今後コロナ禍でも安心して事業実施、参加できるよう取り組んだ。なお、感染症による社会情勢の自粛傾向を鑑み、イベントの情報発信は実施しなかった。			市のコロナ禍におけるイベント等の活動指針に基づき活動した結果、16事業（R2年度実績：18事業）と減少したが、実施地区は4地区から12地区と増え、コロナ前の各地区でのスポーツ活動の実施に戻りつつある。制限のある中でも、多くの方に事業を知っていただけるよう、広報紙及びHPによる活動内容の発信を新規で行ったことで参加者数の減少は10名に留まったと考えられる。						
課題	緊急事態宣言等により1事業も実施できなかった地区もあり、大幅に実施事業数が減少したことに伴い参加者数も減少した。次年度以降はルールに従って事業実施していく。併せて、広報やHPによる活動内容の発信を行っていく。			感染症対策として人数制限を設けている事業が多いため、参加人数を増やすためには、実施回数が増加が必須であるが、人員や予算の都合から困難である。令和4年度は各事業が満員となるよう情報発信に努める。						
成果	令和4年度			令和5年度						
	制限が緩和され、44事業（R3年度実績：16事業）に増加し、参加人数も増加したが、令和元年度の実績までには達していない。前半、新型コロナウイルス感染症の感染防止の影響が残った事と、積極的に事前PRをした場合、想定以上に参加者が多くなってしまった時に、当時の急な運営変更で課題が出るのがわかり、HPやツイッターによる積極的な情報発信は行わなかった。									
課題	情報発信の方法について、引き続き市民スポーツ指導員と検討していく。各地のイベント内容を吟味し、可能と思われるイベントについては事前の情報発信を試行してみる。									
成果	令和6年度			令和7年度						
課題										
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点						

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	3	取組名	スポーツ協会・スポーツ少年団への支援 (市民総合体育大会含む)				担当課
							生涯スポーツ課
概要	スポーツ協会加盟団体によるジュニア育成(普及・技術向上)事業実施を支援する。 スポーツ少年団が行う大会、イベント、研修等について、支援し、ジュニア期におけるスポーツの充実を図る。 スポーツ協会や各種団体が開催するスポーツ教室に働き盛り世代・子育て世代が参加できるように支援する。 スポーツ協会が主催する市民総合体育大会を開催し、市民のスポーツ意欲の向上、地域住民の交流等を図る。 スポーツ協会や加盟競技団体、スポーツ少年団の活動に対して支援、充実を図り、競技スポーツ等の推進を図る。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 ■施策2 □施策3 □施策4 □施策5		■施策6 □施策7 □施策8		■施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	①スポーツ振興協会とスポーツ協会の共催事業であるジュニア育成事業の参加延べ人数を増やします。 ②スポーツ少年団が行う大会、イベントの充実を図り、実施回数を維持します。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値(令和元年度)		最終目標値(令和7年度)	
①参加人数 ②実施回数		①増加していれば進捗している ②維持していれば進捗している		①1,501人 ②12回		①1,600人 ②12回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		①1,520人 ②12回	①1,540人 ②12回	①1,560人 ②12回	①1,580人 ②12回	①1,600人 ②12回	
実績値	①653人 ②4回	①1,280人 ②10回	①1,786人 ②12回				
(参考) 決算額	—	—	—				
評価	C		A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	ほとんどの大会が、新型コロナウイルスの為実施できなかったが、一部規模を縮小しながら実施できた種目もあった。種目の特性に応じたガイドラインが各団体ごとに作成され、整ってきている。すべて一律で中止するのではなく、状況に応じて柔軟に大会運営を行っていくような方向性が示されてきた。			新型コロナウイルス感染対策に配慮しながらも各競技で大会、交流会が少しずつ開催された。大会、交流会があることで競技者のモチベーションの向上につながると思う。			
課題	不特定多数が集まるものや、宿泊を伴う研修など、感染防止の観点から実施方法の検討を行う。競技ごとや、人数のをコンパクトにするなど実施方法を工夫し、競技力や体力の向上を目指したい。			いかにしてコロナ禍前の通常活動へ戻すか。また、コロナ対応を機に、今までと変えられる部分を検討していく必要がある。引き続き各団体への支援を行い大会の実施に向けたサポートを行う。ジュニア育成事業については、活動の充実に向けた広報等の支援を行う。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	スポーツ少年団が行う大会、イベントは12事業すべてを実施できた。各団体への支援は継続し、内容を充実させていく。ジュニア育成事業の参加延べ人数では目標値を200名以上も上回った。						
課題	競技力向上に向け、幼少期に様々な動きを経験することが有効であることを知ってもらうため、広報活動の拡充を図る。スポ少事業への参加を通して、他種目交流や参加者同士のコミュニケーションの拡充を図る。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	4	取組名	スポーツ施設の管理・運営				担当課	
							生涯スポーツ課	
概要	袖ヶ浦体育館、東部体育館、袖ヶ浦テニスコート、秋津テニスコート、秋津サッカー場、秋津野球場、実籾テニスコート、茜浜パークゴルフ場、芝園テニスコート・フットサル場等のスポーツ施設の管理・運営							
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進
		□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5			□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 ■施策12
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	多様化する市民ニーズに対応したきめこまやかな施設運営が必要とされることを踏まえ、民間活力によるより質の高い維持管理や利用者へのサービス提供の提案が期待できることから指定管理者制度を導入し管理・運営を行う。							
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
指定管理施設数		施設数を維持することが進捗している。			9施設		9施設	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		9施設	9施設	9施設	9施設	9施設	9施設	
実績値	9施設	9施設	9施設					
決算額 (参考)	145,690,905円	150,313,015円	149,445,686円					
評価		B	B					
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満							
令和2年度				令和3年度				
成果	公益財団法人習志野市スポーツ振興協会を指定管理者として、上記9施設の管理を行った。			公益財団法人習志野市スポーツ振興協会を指定管理者として、上記9施設の管理を行った。				
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休業要請を行ったことから、利用料収入は大幅に減少した。令和2年度については、国の交付金を活用し、支援金を交付することで対応したが、損失補償の対応について、財源も含めて来年度以降どのように対応していくか、市の対応が未定であることが課題である。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数や利用時間の制限をかけながら施設の管理運営を行った。利用者や教室参加者にアンケートを行い、継続的なサービスの向上に取り組んでいる。その中で、各施設によって対応等に多少の差がみられる部分があるため、特に接遇などの職員研修に取り組む等、窓口業務強化へ向けた取組みをしていくことが課題である。				
令和4年度				令和5年度				
成果	指定管理者が行った利用者アンケートの結果、施設の満足度については96%の方から普通以上の満足度との回答であった。残りの4%の方の意見は、施設の老朽化に関する意見であり、引き続き施設の安全・安心な運営、老朽化対策について取り組んでいく。							
課題	利用者アンケートからリピーターの利用者が多いことが分かったが、今後より多くの市民に利用していただくためには、今利用していない人のニーズや、施設の空き状況の情報発信といった運営方法の工夫など、さらなる検討が必要である。							
令和6年度				令和7年度				
成果								
課題								
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点				

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	5	取組名	総合型地域スポーツクラブへの活動支援				担当課	
							生涯スポーツ課	
概要	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を構成する3クラブ（習志野イースタンスポーツクラブ、習志野ベイサイドスポーツクラブ、習志野中央スポーツクラブ）について、施設予約の優先利用許可や消耗品購入等により、各クラブの活動と運営を支援している。生涯スポーツ課が事務局となり組織している連絡協議会では、相互の連携、地域クラブ関係者の親睦および新規クラブの育成を図り、地域スポーツの振興に寄与することを目的としている。							
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進
	■施策1 ■施策2 □施策3 ■施策4 ■施策5		■施策6 □施策7 □施策8				■施策9 □施策10 □施策11 □施策12	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	各クラブの情報発信に協力し、幼児期・ジュニア期、働き盛り世代・子育て世代等、幅広い世代へのクラブ活動の参加促進を図ります。							
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
3クラブの活動参加者数の合計		人数が増えているれば進捗している			28,223人		30,000人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		25,516人	28,200人	28,800人	29,400人	30,000人		
実績値	21,631人	24,315人	28,711人					
（決算額）	146,695円	298,598円	149,735円					
評価		C	A					
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満							
成果	令和2年度			令和3年度				
	例年と同様に施設予約の優先利用許可、消耗品の支給を行ったが、新型コロナウイルスにより活動できない種目が多く、特に社会人や学生が参加する平日夜間の種目が施設の時間短縮の影響を大きく受けており、参加者が減少した。また、更新不可能になっていた中央SCのHPの新規立ち上げ、市HPの総合型地域SCページの見直し等を行い情報発信を行った。			昨年度と比較すると、各団体の種目ごとに感染対策を行ったうえで活動する頻度を増やしたり、公民館等他の団体と共同で活動をしたりしたことで活動参加者数を増やすことができた。しかし、結果的には会員の高齢化から会員数は減少傾向となった。				
課題	過去6年間で最低人数のH29年度25,516人（東部体育館休館時）を大幅に下回ったことから、新型コロナウイルスにより離れてしまった会員に戻ってきてもらえるような支援を検討する必要がある。新規参加者の獲得については、引き続き情報発信方法を検討していく。			各クラブ、会員の高齢化の問題を抱えており、現役世代である40代、50代の会員の減少が見受けられる。会員登録につながるよう各団体への支援を行っていく。				
成果	令和4年度			令和5年度				
	各クラブが感染症対策を行ったうえで、スポーツまつり等、地域住民が参加できるスポーツイベントを開催した。また、市のLINEやTwitterを利用し、市内での認知度を上げる取り組みを行った。結果として、HPへのアクセス数は増加した。							
課題	新規会員が入会したきっかけとして、現会員からの紹介が多く、年齢に偏りがある。SNS等での呼びかけの他、若年層へのアプローチ方法を検討していく必要がある。							
成果	令和6年度			令和7年度				
課題								
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点				

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	6	取組名	トップチームやアスリートとの地域交流事業の推進				担当課		
							生涯スポーツ課		
概要	千葉ロッテマリーンズやオービックシーガルズ、阿武松（おうのまつ）部屋による子ども対象の教室やイベント等の開催を支援している。								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 ■施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します	
目標	地域交流イベント参加者の人数を増やします。								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）		
地域交流イベント参加者人数		増加していれば進捗している			97人		105人		
目標値	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
	97人		100人		100人	105人		105人	
実績値	-	-		- (中止のため)					
(参考) 決算額	-	-		-					
評価	C		C						
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満								
成果	令和2年度				令和3年度				
	イベントの実施は難しかったが、今後の開催に向けての情報収集などを行った。プロ野球の開幕を市のツイッターでPRするなどコロナ禍でもできることを精査し情報提供を行うことで支援していきたい。				令和2年度に引き続き、イベントの実施は難しかったが、今後の開催に向けての情報収集などを行った。プロ野球の開幕を市のツイッターに投稿、市庁舎ハミング階段にてポスターやユニフォームを掲示しPRするなどコロナ禍でもできることを精査し情報発信を行った。				
課題	イベントの実施は難しい状況であった。コロナ禍で様々なイベントが無くなったことから、連絡を取り合う機会が減っている。新型コロナウイルス感染症の終息後、再びスポーツを盛り上げるために、意識的に関係をつないでおく必要がある。				令和2年度に引き続き、イベントの実施は難しい状況であった。コロナ禍で様々なイベントが無くなったことから、担当者と連絡を取り合う回数が減ってしまった。再びスポーツを盛り上げるために、意識的に関係をつないでおく必要がある。				
成果	令和4年度				令和5年度				
	令和3年度に引き続き、プロ野球の開幕を市のツイッターに投稿、市庁舎ハミング階段にてポスターやユニフォームを掲示しPRなどの情報発信を行った。9月にアメリカンフットボールの試合を5日間に渡って行い、子ども向けのアトラクションや屋台を用意するなど、身近な施設で気軽に観戦できるイベントを企画した。								
課題	5日のうち、4日が雨天となり、子ども向けアトラクションを中止せざるを得なかった。野外の難しさを感じた。 【観客数5日間2,313人】								
成果	令和6年度				令和7年度				
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	7	取組名	スポーツエキスパート推進事業（部活動支援事業）				担当課		
							指導課		
概要	専門的指導力を持つ指導者を必要とする中学校に対し、部活動支援員を派遣する。 専門的な指導力を備えた指導者を必要とする市内中学校の要望に対し、スポーツエキスパートを紹介する。								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 ■施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します	
目標	専門的な指導者を必要とする中学校に対し、外部指導者を派遣し、生徒の競技力向上を目指す。								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）		
①部活動支援員数 ②派遣回数		部活動支援員数及び派遣回数が、維持もしくは増加していれば進捗している			①8名 ②192回		①8名 ②192回		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
目標値		①8名 ②192回	①8名 ②192回	①8名 ②192回	①8名 ②192回	①8名 ②192回			
実績値	①8名 ②192回	①8名 ②192回	①8名 ②192回						
（参考） 決算額	980,530円	980,530円	980,530円						
評価		A	A						
《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未滿									
成果	令和2年度			令和3年度					
	昨年度に引き続き、各学校1名+1名の計8名の派遣ができた。コロナ禍での制限された部活動において、専門性のある指導者がいることで効率的な活動や若手の指導力向上、生徒への専門的な技能の習得に有効であった。			令和2年度に続き、各学校1名+1名の計8名の派遣ができた。派遣時期については、社会情勢や感染状況を考慮しながら、学校生活様式に合わせて活動を行った。制限がある中でも、専門的指導力を持つ指導者から指導を受けたことで、技能の向上が図られ有効であった。					
課題	指導者を必要とする市内中学校の要望にどう応えていくかが課題である。引き続き部活動指導員の人数や派遣回数について検討する。			各学校1名+1名の計8名である。引き続き支援員の増員や派遣回数について検討する。					
成果	令和4年度			令和5年度					
	コロナ禍で活動内容に制限があった時期もあったが、年間を通して活動できた。専門性のある指導者がいることで効率的な活動や若手の指導力向上、生徒への専門的な技能の習得に有効であった。								
課題	指導者を必要とする市内中学校の要望にどう応えていくかが課題である。引き続き部活動指導員の人数や派遣回数について検討する。								
成果	令和6年度			令和7年度					
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	8	取組名	体力・運動能力の向上に向けた指導の推進				担当課
							指導課
概要	体力・運動能力の向上を目指して、授業や行事、部活動等で発達段階に応じた指導を推進する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進	柱②	みるスポーツの推進	柱③	支えるスポーツの推進	
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します	施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します	施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します	
目標	体力・運動能力の向上を目指して、学校体育の授業以外の行事や部活動等の体育的活動を通して、児童生徒の体力向上を図る。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）	最終目標値（令和7年度）		
学校体育の授業以外の体育的活動実施校数		実施校数が維持できていれば進捗している		小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校		
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校	
実績値	小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校	小学校16校 中学校7校				
決算額 (参考)	—	—	—				
評価		A	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、体育的行事や部活動において様々な活動が制限され、行事の見直しや部活動の停止等の対応をせざるを得なかった。しかし、コロナ禍の新しい生活様式に合わせた体育的活動や行事を各校が工夫して行った。運動会・体育祭へ向けた練習では学年やクラスごとに規模を縮小して実施、中学校の部活動も再開することができた。			昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、体育的行事や部活動において様々な活動が制限されたが、状況に応じて規模の縮小や内容を変更するなど工夫して行った。 小学校：業間体育（サーキット、縄跳び、鉄棒等） 球技大会、マラソン大会の実施、運動会練習 中学校：部活動、球技大会、大縄跳び等 体育祭練習			
課題	感染症予防を施した上での体力向上が課題である。体力運動能力調査結果を活用し、児童生徒の体力向上のための課題を明らかにするとともに、コロナ禍における活動の幅を広げる必要がある。			新型コロナウイルス感染症拡大の影響でどの程度まで行っていいのかの判断が難しい。新体力テスト等の結果をもとに、各学校の児童生徒の実態を把握し、体力・運動能力の向上に向けて取り組むことが課題である。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で活動の制限がせれる時期もあったが、状況に応じて規模の縮小や内容を変更するなど工夫して行った。 小学校：業間体育（サーキット、縄跳び、鉄棒等） 球技大会、マラソン大会の実施、運動会練習 中学校：部活動、球技大会、大縄跳び等 体育祭練習						
課題	学校の教育活動全体を通じて運動に親しむ学校が増えている。各校がそれぞれの状況に応じて、引き続き体力・運動能力の向上に向けて取り組むことが課題である。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	9	取組名	「遊・友スポーツランキングちば」への参加の奨励				担当課
							指導課
概要	千葉県教育委員会が体力向上と社会性の育成を目的に実施している「遊・友スポーツランキングちば」への参加を奨励し、児童生徒の積極的な運動習慣の育成を推進する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	「遊・友スポーツランキングちば」についての周知を図り、エントリー校の増加を目指す。 健康・体力向上につながる取り組みの一つとして進めていく。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
参加校数		参加校数が増加すれば進捗		小学校6校 中学校2校		小学校9校 中学校4校	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		小学校6校 中学校2校	小学校6校 中学校2校	小学校7校 中学校3校	小学校8校 中学校3校	小学校9校 中学校4校	
実績値	小学校1校 中学校0校	小学校2校 中学校1校	小学校16校 中学校7校				
決算額 （参考）	-	-	-				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年度に比べて参加校が大幅に減ったが、1校参加し県のランキング入りを果たした。			新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加校については、ほとんど増加しなかった。東習志野小学校は、年間3回の募集に対してすべて応募した。			
課題	「遊・友スポーツランキングちば」に挑戦したくなるような呼びかけの工夫が必要である。種目内容等を周知するだけでなく、学年、学級づくりなど体育の時間以外での活用や、部活動単位での参加、積極的に参加している学校等の紹介をしていく。			体育主任会議や教務主任会議などで積極的に呼びかけを行い、周知する必要がある。種目によっては、体育的行事や部活動とタイアップするなど学校に積極的に紹介していく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	市内小・中学校すべての学校で積極的かつ継続的に行った。4校が各部門で1位となり県教育委員会より表彰を受けた。運動機会の確保の点でも大きな成果があった。						
課題	次年度においても、市内小・中学校で実施していくことを確認した。児童生徒に運動習慣を育成できるよう、実施方法や目標を明確にし意欲の向上に努める。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	10	取組名	毎日楽しく体を動かす遊びの推進				担当課
							こども保育課
概要	外遊びの時間の確保や年齢や発達に応じた環境づくりを通して、積極的に体を動かす態度や基礎的な運動能力を促し、多様な動き（バランス・移動・用具等の操作）を引き出し、経験できるようにする。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	保育施設の中で、多様な動きを引き出す設定の工夫をし、体を動かす活動の推進を図ります。体を動かす時間の確保に努める。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
一日あたりの体を動かして遊んだ時間		時間が増えていけば進捗している		78分		85分	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		75分	78分	80分	82分	85分	
実績値	73分	74分	80分				
(参考) 決算値	-	-	-				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未滿						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園庭や所庭の使用を分散する等、制限をしたことで、体を動かす時間が下回った。しかし、密を避けながら、個人で取り組める運動遊びの設定を工夫する等、体を動かす意欲や態度を維持継続できるようにしたことで、運動能力の向上を図ることができた。			体を動かしたくなる遊びの場の設定や用具の活用、遊びのきっかけ作りを立案、実施することを意識してきた。引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各施設学年やクラス毎など密を防ぐ工夫を継続しながらであったが、体を動かす楽しさを感じたり繰り返し運動遊びに取り組もうとする姿につながった。			
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止が続く中でも、多様な動きを引き出す設定や用具活用の工夫、体を動かす時間の確保をしていく必要がある。			密にならない方法を工夫しながら、引き続き体を動かして遊ぶ時間の確保と環境、教材の工夫を図る。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	各施設で密にならないように場の工夫（時間差や入れ替え制など）をしながら、体を動かしたくなるような環境作りを意識してきたことで数値があがった。また、発達に応じた遊具の提供や繰り返し取り組めるように年齢ごとに活動時間を分けたことで、十分に体を動かす心地よさや満足感を味わったり挑戦意欲にもつながったりした。						
課題	育ちに応じた「体を動かして遊べる」環境や時間の工夫をしながら、教育・保育計画の立案、実施を図る。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	11	取組名	家庭・保護者との連携・推進				担当課
							こども保育課
概要	行事等や親子が一緒に体を動かす機会を通して体を動かす楽しさや大切さを実感できる発信方法の工夫をし、親子で体を動かす機会を作り実施する。 外部講師を招いて、職員が学んだ内容を保護者へ啓発したり、実践したりする機会を設ける。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	体を動かす楽しさや大切さを実感できるよう各施設から発信し、親子で体を動かす機会を増やします。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①体を動かす発信回数 ②親子で体を動かした回数		①と②の合計数が増えている		134回		150回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		134回	138回	140回	145回	150回	
実績値	17回	19回	165回				
（参考） 決算額	-	-	-				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運動会等、実施できた行事については、親子で体を動かすことができた。各施設で、予定していた保育参観が参加型ではなく、参観型に変更したことで、回数が下回っている。しかし、家庭の中で親子が体を動かす機会がもてるよう資料配布や写真等の掲示をして発信力に努めた。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子と一緒に体を動かす機会（運動会・保護者参観）を設けることが難しかったが家庭向け、「体を動かすことの大切さや楽しさ」、「親子で体を動かして遊べる取り組み」を資料やホームページなどを利用して発信してきた。また、降園時に園での運動遊びやダンスなどの取り組みや子どもの姿を意識的に伝えるよう努めた。			
課題	各施設で実施している活動や体を動かすことの大切さを家庭に発信していくことの工夫をしていく必要がある。			引き続き、体を動かすことの大切さや楽しさ、園での取り組みなど家庭に分かりやすく発信していく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため制限されていたことが少しずつ緩やかになったことで、親子で体を動かす機会（運動会、保護者参観）を再開した。園だよりや掲示物などでも体を動かす楽しさを感じられるような情報提供を発信したことで、親子ダンスなどを通して楽しく体を動かすことにつながった。子育てふれあい広場でも園児と一緒にダンスを踊り地域の親子も体を動かすきっかけになった。						
課題	園だよりや掲示物など、具体的な内容の発信を通して、体を動かすことの楽しさや大切さを伝えていく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	12	取組名	地域・ボランティアとの連携・推進				担当課
							こども保育課
概要	地域やボランティア等、運動講師を招いて、計画的に体を楽しく動かす機会をつくり、指導に生かします。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	地域の方や運動講師等を招いて、職員や子ども、親子への直接指導をしてもらい、体を動かす楽しさが体験できる機会を推進します。直接指導する機会を増やします。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
講師等からの指導の回数		回数（または講師からの指導を職員が実践）が増えていけば進捗している。		28回		35回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		28回	30回	32回	33回	35回	
実績値	12回	12回	17回				
(参考) 決算額	-	-	-				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設内に外部者の出入りを制限したことから、実績数が下回った。感染対策を講じた研修等を市で実施し、各施設で実践したことで、体を動かす指導力向上につながった。			3年度も新型コロナウイルス拡大予防のため、外部講師による子どもへの直接指導が難しく各施設職員が学びを広めた。様々な動きを引き出す指導を学び実践することで、教育の質の向上につながった。			
課題	様々な動きを引き出して体を動かす実践が実施できるような講師研修等を感染対策を講じて実施していく必要がある。			年間計画の中で、体を動かす楽しさが感じられる研修を実施するとともに、職員も引き続き研修に参加し学べるような環境を整える必要がある。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	外部講師による研修の実施を行った。参加した職員が学びを実践し、一緒に体を動かすことができ、実績数が昨年度よりも増加した。教育・保育の質の向上にもつながった。						
課題	職員全体での研修の実施と各施設内での研修を引き続き計画しながら、学びを積み重ね実践していく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	13	取組名	感覚統合グループ（４・５歳児）				担当課
							ひまわり発達相談センター
概要	体の使い方が不器用な児や運動遊びに苦手を感じている児に対して、作業療法士と理学療法士が専門的な評価を実施し、集団活動の中で各々の状態に合わせた運動課題を実施する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	全身を使った運動課題や必要な感覚刺激を取り入れることで、子どもが主体的に体を動かすことが出来るように働きかける。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①グループ活動実施数 ②参加人数（延）		維持していれば進捗している		①12回 ②68人		①12回 ②70人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		①12回 ②70人	①12回 ②70人	①12回 ②70人	①12回 ②70人	①12回 ②70人	
実績値	①10回 ②44人	①12回 ②72人	①12回 ②56人				
（参考） 決算額	—	—	—				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未滿						
成果	令和2年度			令和3年度			
	体の動かし方がぎこちなかったり、道具の操作が未熟なお子さん等を対象にしている。保護者アンケートや活動後のアセスメントでは、体を動かすことに抵抗を示さなくなったり、運動することの楽しさを感じたりする等の効果が出た。			コロナ禍で参加を見合わせた人がいたため、昨年より参加人数の実績値が減少している。コロナによる制限が多い日常の中で、親子とも楽しめる活動を提供し、満足度が高かった等の反響があった。			
課題	グループ終了後、保護者が継続して取り組める課題の提供を検討していく。			日頃から体を動かすことに親しむ機会を多く取り入れられるように、保護者や所属先に提案していく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	体調不良等での欠席が多く、参加者全員がそろって活動することがほとんどなかった。（16名欠席） 保護者と子どもで体を動かす課題を取り入れたことで、子どもへの理解にもつながった。						
課題	運動課題を通して、親子のコミュニケーションを高めていく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	14	取組名	幼児家庭教育学級				担当課
							中央公民館
概要	3歳児を持つ親を対象に、親子での遊びや体操をプログラムに取り入れます。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	幼児家庭教育学級において、親子で遊びや体操などを動かす活動につながるプログラムを実施する。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①体を動かすプログラム回数 ②体を動かすプログラム参加人数		①回数が増えていれば進捗している ②人数が増えていれば進捗している		回数 8回 人数 128人		回数 10回 人数 160人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		回数 9回 人数 144人	回数 9回 人数 144人	回数 9回 人数 144人	回数 10回 人数 160人	回数 10回 人数 160人	
実績値	回数 2回 人数 22人	回数 3回 人数 43人	回数 11回 人数 113人				
(参考) 決算額	18,000円	32,000円	90,000円				
評価		C	B				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	バランスボールエクササイズや身体の話の講座を行った。講座を通して、適度な運動の実施や体操の大切さを認識することができた。			バランスボールや体操など室内でできる運動を行い、適度な運動の実施、体操の大切さを確認した。また、親子のスキンシップを図ることができた。			
課題	コロナ禍で体を動かす講座が制限されたことから、実施回数が大きく減ってしまった。次年度以降については、安全に配慮しつつ、実施回数を増やしていく。			令和2年度に引き続き、学級全体の回数を半数とし、内容が制限することとなったことから、実施回数を増やすことができなかった。次年度以降も引き続き、安全に配慮し、実施回数を増やしていく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	親子でできる運動やリズムダンスなどを行い、親子のスキンシップを図ることができた。また、参加した親を対象にヨガやフラダンスの講座を実施し、心身ともにリフレッシュすることで、適度な運動の大切さを学んだ。						
課題	次年度以降も引き続き、安全に配慮しながら、親子で一緒に体を動かすプログラムを中心に参加人数の増員、実施回数を増やしていく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	15	取組名	親と子のふれあい講座				担当課
							中央公民館
概要	2歳児を持つ親を対象に、親子での遊びをプログラムに取り入れます。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	親と子のふれあい講座において、親子で遊びや体操など体を動かす活動につながるプログラムを実施する。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①体を動かすプログラム回数 ②体を動かすプログラム参加人数		①回数が増えれば進捗している ②人数が増えれば進捗している		①12回 ②164人		①14回 ②190人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①13回 ②175人	①13回 ②175人	①13回 ②175人	①14回 ②190人	①14回 ②190人	
実績値	実施無し	①4回 ②63人	①11回 ②138人				
(参考) 決算額	—	43,000円	48,000円				
評価		C	C				
《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未滿							
成果	令和2年度			令和3年度			
	実施無し			バランスボールやなわとびを組み合わせたサーキット運動や親子でリトミックを行った。 親子でのコミュニケーションを図り、また、同年代の親子と楽しく体を動かすことができた。			
課題	コロナの影響で、上半期に予定していた館については講座が中止、下半期に予定していた館については、体を動かす講座を自粛した影響で、実施することができなかった。 次年度以降については、安全に配慮しつつ、実施回数を増やしていく。			感染予防対策をとり、体を動かす講座を実施することができたので、次年度以降も安全に配慮し、親子で体を動かす内容を増やしていく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	マット・なわとび等を組み合わせたサーキット運動、親子での体操・リトミックを行い、親子のコミュニケーションを深めることができた。 また、コロナ禍で同年代の親子との交流が減っている中、親同士の交流や子どもたちが楽しく遊ぶ機会を提供できた。						
課題	次年度以降も引き続き、安全に配慮しながら、親子で一緒に体を動かすプログラムを中心に参加人数の増員、実施回数を増やしていく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	16	取組名	地域子育て支援拠点事業				担当課
							子育て支援課
概要	未就学児を対象に、親子が自由に遊び、交流できる場の提供、子育てに関する相談、情報及び学習の場の提供等を行い、安心して子育てができる環境を整備し、地域の子育て機能の充実を図る。また、習志野市こどもセンターでは、園庭を活用し、乳幼児を木々や土のある自然環境の中で自由に安心して遊ばせられる乳幼児専用プレーパークを開催する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	施設内に親子が自由に遊び交流できる場を提供するとともに、毎日親子でのふれ合いと体を動かすことができる時間を設けます。習志野市こどもセンターでは、園庭を解放した際に、乳幼児を木々や土のある自然環境の中で自由に安心して遊ばせられる乳幼児専用プレーパークを開催します。また、乳幼児専用プレーパークイベントを年に数回開催します。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
乳幼児専用プレーパークのイベント開催回数		開催回数が維持していれば進捗している。		3回		3回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		3回	3回	3回	3回	3回	
実績値	0回	0回	0回				
(参考) 決算額	23,730,495円	21,499,329円	15,629,576円				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未達						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限、時間制限を行い、予約制による運営となった。各予約枠の中で手遊びや体操の時間を設けた。乳幼児専用プレーパークについては、園庭を解放した際に常時行い、イベントについては開催を中止した。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限、時間制限を行い、予約制による運営となった。各予約枠の中で手遊びや体操の時間を設けた。乳幼児専用プレーパークについては、園庭を解放した際に常時行い、イベントについては開催を中止した。			
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた中での、運営方法、イベントの開催を検討する。			新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた中での、運営方法、イベントの開催を検討する。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限、時間制限を行い、予約制による運営となった。各予約枠の中で手遊びや体操の時間を設けた。乳幼児専用プレーパークについては、園庭を解放した際に常時行い、イベントについては開催を中止した。						
課題	令和5年度は、3年ぶりのイベント開催を予定しているため、職員間で開催方法等を再確認をしながら、準備を進めていく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	17	取組名	市内障がい者スポーツ大会の開催				担当課
							障がい福祉課
概要	障がいのある人もない人も楽しめるイベントやレクリエーションの実施・情報提供します。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	<input type="checkbox"/> 施策1 <input type="checkbox"/> 施策2 <input checked="" type="checkbox"/> 施策3 <input type="checkbox"/> 施策4 <input type="checkbox"/> 施策5		<input type="checkbox"/> 施策6 <input type="checkbox"/> 施策7 <input type="checkbox"/> 施策8		<input type="checkbox"/> 施策9 <input type="checkbox"/> 施策10 <input type="checkbox"/> 施策11 <input type="checkbox"/> 施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		
目標	習志野市障がい者スポーツ大会を開催し、障がいがある人もない人も楽しめるパラスポーツに触れる機会を作る。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
参加人数		人数が増えていれば進捗している。		54人		80人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		50人	50人	60人	70人	80人	
実績値	33人	—	33人				
(決算額)	82,524円	0円	77,069円				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、種目をポッチャのみとし開催した。参加者の募集人数を例年の80名から48名にした。感染症の影響もあり、参加者数が例年よりも少なかったが、参加者全員がパラスポーツを楽しむ機会を提供することができた。			9月末まで緊急事態宣言が発出されていたため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会を中止した。（大会は例年10月下旬から11月に行っている。）			
課題	新しい生活様式を踏まえた効果的な大会の開催の検討。 障がいのある人以外の参加を促す手法の検討。			新しい生活様式を踏まえた効果的な大会の開催の検討。 障がいのある人以外の参加を促す手法の検討。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	継続して新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小（競技を1種目とし、募集人数を削減）して開催した。参加者数は令和2年度と比較して横ばいとなった。						
課題	今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が緩和された場合の開催規模の検討。 障がいのある人以外の参加を促す手法検討。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	18	取組名	寿学級の活動				担当課
							中央公民館
概要	健康に関する内容でスポーツ推進委員等の指導のもとで活動します。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
		<input type="checkbox"/> 施策1 <input type="checkbox"/> 施策2 <input checked="" type="checkbox"/> 施策3 <input type="checkbox"/> 施策4 <input type="checkbox"/> 施策5		<input type="checkbox"/> 施策6 <input type="checkbox"/> 施策7 <input type="checkbox"/> 施策8		<input type="checkbox"/> 施策9 <input type="checkbox"/> 施策10 <input type="checkbox"/> 施策11 <input type="checkbox"/> 施策12	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		
目標	寿学級において、スポーツ推進委員等の指導のもとで健康に関するプログラムを実施する。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①健康に関するプログラム回数 ②健康に関するプログラム参加人数		①回数が増えていけば進捗している ②人数が増えていけば進捗している		①47回 ②623人		①50回 ②650人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①48回 ②630人	①48回 ②630人	①49回 ②640人	①49回 ②640人	①50回 ②650人	
実績値	回数 14回 人数 286人	①26回 ②402人	①69回 ②1,126人				
(参考) 決算額	25,000円	30,000円	293,000円				
評価		C	A				
《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満							
	令和2年度			令和3年度			
成果	健康づくりのための体操やグラウンドゴルフ、ラダーゲッターなどを実施した。参加者は楽しく体を動かすことができた。また、コロナ禍において、体を動かすきっかけにすることができた。			健康づくりのための体操やラダーゲッター、ダンスなど楽しく体を動かすことができた。また、パラリンピックで日本が活躍した、ポッチャの体験を行った。			
課題	コロナ禍で、学級全体として実施回数が減少した中で、体を動かす回も減少してしまった。次年度以降については、安全に配慮しつつ、実施回数を増やしていく。			感染拡大防止のため、学級の実施回数を半分としたが、対策を講じながら、体を動かす講座を実施した。高齢者の健康、体力維持のため、引き続き感染対策を行い、回数を増やしていく。			
	令和4年度			令和5年度			
成果	運動や健康をテーマに、体幹を整えるストレッチ、グラウンドゴルフ、ズンバダンス、歯科講座、公民館サークルの協力による盆踊り等、各館が工夫して取り組んだ。また、寿まつりの演目で「座タップダンス」や「健康リズム体操」を行い、参加者も楽しく体を動かし活動することができた。						
課題	コロナ禍による外出控えで参加者が減少した。高齢者の健康、体力維持のため、引き続き感染防止対策を行いながら、内容の充実を図ることで参加人数の増員につなげたい。						
	令和6年度			令和7年度			
成果							
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	19	取組名	あじさいクラブ連合会（老人クラブ）主催 各種スポーツ大会への支援				担当課
							高齢者支援課
概要	あじさいクラブ連合会会員を対象にしたグラウンドゴルフ、パークゴルフ、ベタンク、ゲートボールの各種大会を支援します。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 ■施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	あじさいクラブ連合会に加入している各単位老人クラブに対して大会への参加を積極的に働きかけ、参加人数の増加を図ります。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
参加人数		参加人数が増えていれば進捗している		396人		430人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		400人	405人	410人	420人	430人	
実績値	0人	45人	277人				
（参考） 決算額	—	129,918円	350,416円				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての大会が中止となり、実績はなかった。			令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止に加え、雨天の影響もあり、参加者数を制限したパークゴルフ大会のみの開催となった。			
課題	高齢者が対象となる取り組みであり、新型コロナウイルスの状況により大会開催が可能かどうか検討する必要がある。			次年度については新型コロナウイルスの状況にもよるが、基本的な感染防止対策を講じたうえで大会を開催する。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ベタンクの各大会が開催された。ゲートボールについては参加者が集まらないため、中止となった。						
課題	今後も基本的な感染防止対策を図り、各大会を開催する。会員の高齢化に伴い会員数も減少し続けている中で、一層の周知を図る必要がある。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	20	取組名	高齢者スポーツ大会の開催				担当課		
							高齢者支援課		
概要	60歳以上の高齢者を対象に体力づくり健康づくりの他、高齢者の親睦を深めるため高齢者向けの競技を実施します。								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	□施策1 □施策2 ■施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します	
目標	高齢者の健康づくり、また親睦を深めることに寄与するべく、大会への参加を広く呼びかけ、参加人数の増加を図ります。								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）		
参加人数		参加者数が増加していることが進捗している			368人		410人		
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		378人	388人	389人	400人	410人			
実績値	—	—	293人						
（参考） 決算額	0円	0円	564,701円						
評価		C	C						
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満								
成果	令和2年度			令和3年度					
	高齢者スポーツ大会は毎年10月に開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会が中止となり、実績はなかった。			高齢者スポーツ大会は毎年10月に開催しているが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会が中止となり、実績はなかった。					
課題	高齢者が対象の取り組みであり、新型コロナウイルスの拡大状況により大会を開催できるか検討する必要がある。また、毎年参加者の大部分は老人クラブ所属者であり、一般の参加が少ない。一般参加者の増加方法を検討する必要がある。			令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会は中止となった。次年度については新型コロナウイルスの状況にもよるが、基本的な感染防止対策を講じたうえで大会を開催したい。					
成果	令和4年度			令和5年度					
	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じ、令和元年度以来、3年ぶりのスポーツ大会開催となった。								
課題	今後も基本的な感染症対策を講じ、スポーツ大会を開催する予定であるが、会員の高齢化に伴う会員数が減少し続けており、一層の周知を図る必要がある。								
成果	令和6年度			令和7年度					
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	21	取組名	一般介護予防事業				担当課		
							健康支援課		
概要	65歳以上の高齢者を対象に、要介護状態にならずにいつまでも自立した生活が送れるよう、運動等の支援をする。								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	□施策1 □施策2 ■施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します	
目標	運動器の機能向上を目的とした『足腰げんき塾』、認知症予防を目的とした『脳の活性化プログラム』の参加により、より多くの市民が介護予防に取り組むきっかけづくりを支援します。(基準値①・目標値は「習志野市光輝く高齢者未来計画2021」に基づく)								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値		最終目標値(令和7年度)		
①介護予防教室参加者の合計数 ②参加者のうち生活機能が維持・向上している人の割合(%)		①人数が増えていれば進捗している ②80%以上を維持することが進捗している			①150人 ②61.9%		①150人 ②80%		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
目標値		①150人 ②80%	①150人 ②80%	①150人 ②80%	①150人 ②80%	①150人 ②80%			
実績値	①170人 ②61.9%	①213人 ②56.3%	①234人 ②69.3%						
(決算額)	2,147,030円	3,188,350円	3,479,190						
評価		B	B				《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満		
成果	令和2年度			令和3年度					
	運動器の機能向上教室(足腰げんき塾)と認知症予防教室(脳の活性化プログラム)共に、緊急事態宣言発令を受けて9月からの開催となった。令和元年度の半分以上の定員数にて実施したが、定員を超える申込みがあった。参加者に実施したアンケートからは、生活機能を維持・向上している人は両教室ともに半数を超えていた。			新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、定員の削減、時間を短縮するなどして、可能な範囲で教室開催することができた。感染拡大にて申込者が定員に満たない会場もあったが、参加者人数は目標に達した。参加者の生活機能の維持・向上は半数は超えたが目標には達しなかった。					
課題	定員数を減らしての開催のため参加者数としては減少するが、より多くの市民が参加できるよう新規申込者を優先し参加を促していく必要がある。また、教室参加後も継続して運動や認知症予防を行っていくような教室内容を検討していく必要がある。			感染対策により、人数や時間の制限がある中で、効果的な教室の開催を行っていく必要がある。教室終了後、自宅や地域で参加者が介護予防に継続して取り組める仕組みを検討していく。					
成果	令和4年度			令和5年度					
	生活機能が維持向上している参加者は、足腰げんき塾が68.1%、脳の活性化プログラムが70.4%で合わせた平均値は69.25%となった。目標値は未達成だが、年々増加傾向(+7.4%)にある。さらにアンケートで実施している主観的健康観の「非常に健康」「まあ健康」について、足腰げんき塾123人(87.2%) 脳の活性化プログラム46人(80.7%)であり、健康であると感じている参加者は多いと考える。								
課題	参加者の運動機能が多様でありプログラムの組み立てが困難であった。そのため次年度は「足腰げんき塾立位運動コース」を新設し対応する。また教室終了後も行動変容を継続させるため、グループワークや栄養・口腔ケア講座を導入することとした。								
成果	令和6年度			令和7年度					
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	22	取組名	てんとうむし体操の推進				担当課		
							高齢者支援課		
概要	寝たきりの主な原因のひとつである転倒・骨折を予防するための体操として、習志野市オリジナルの体操である「てんとうむし（転倒無視）体操」を普及する。								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	□施策1 □施策2 ■施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します	
目標	てんとうむし体操に取り組む市民が増えることを目指す。てんとうむし体操に取り組む転倒予防体操推進団体が増え、団体に参加する市民が増えるよう取り組んでいく。								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）		
①転倒予防体操推進団体数 ②団体への参加人数（延べ人数）		①増加していれば進捗 ②増加していれば進捗			①59か所 ②30,601人		①60か所 ②35,000人		
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		①56か所 ②15,000人	①57か所 ②30,000人	①58か所 ②31,000人	①59か所 ②33,000人	①60か所 ②35,000人			
実績値	①56か所 ②11,612人	①57か所 ②16,001人	①55か所 ②19,585人						
（参考） 決算額	515,000円	578,005円	646,798円						
評価		C	C						
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満								
成果	令和2年度			令和3年度					
	①②は平成30年度までは年々増加していたが、感染症の影響から令和元年度より、活動自粛及び休止による影響で参加者減少。その後も活動の実施については慎重ではあるが、高齢者の健康維持のための活動は一斉に自粛するものではなく、感染予防対策の実施とワクチン接種の進行に伴い活動再開の動きがある。			新規団体が1団体増。感染症予防のための消毒や換気が定着し、ワクチン接種を積極的に行った上で活動を実施している。そのため参加者の増加が見られた。感染状況に合わせて、参加者と相談しながら活動自粛及び再開を決定している様子が伺える。					
課題	施設使用人数の制限が従来より少人数になり団体毎に参加人数を増やすことよりも、少人数による身近な場所で参加できる場所を増やしたい。			コロナ禍以降、活動自粛していた団体の中で団体登録取消となった団体がある。継続団体には引き続き活動支援を実施し、新たな団体の立ち上げに向けて、転倒予防体操推進員の活動支援、地域運動習慣自主化事業を通して実施していく。					
成果	令和4年度			令和5年度					
	新規団体数は3団体増加した。高齢者施設内での開催が困難で再開できないなど、休止や廃止となった団体が6団体あった。感染症予防策を講じた上での活動は定着しつつあり、全体の参加人数は増加している。								
課題	継続団体には引き続き活動支援を実施する。転倒予防体操推進員の活動支援や地域運動習慣自主化事業を通し、新たな団体の立ち上げを支援していく。								
成果	令和6年度			令和7年度					
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	23	取組名	ニュースポーツ用具の貸出				担当課
							生涯スポーツ課
概要	ニュースポーツ用具を団体や市民へ貸し出し、ニュースポーツの普及を推進する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
		<input type="checkbox"/> 施策1 <input type="checkbox"/> 施策2 <input type="checkbox"/> 施策3 <input checked="" type="checkbox"/> 施策4 <input type="checkbox"/> 施策5		<input type="checkbox"/> 施策6 <input type="checkbox"/> 施策7 <input type="checkbox"/> 施策8		<input type="checkbox"/> 施策9 <input type="checkbox"/> 施策10 <input type="checkbox"/> 施策11 <input type="checkbox"/> 施策12	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		
目標	ニュースポーツの周知・普及を通じて、市民が気軽にスポーツ・運動に取り組む機会の充実を図ります。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
ニュースポーツ用具の貸し出し回数		回数が増えているれば進捗している		60回		85回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		45回	55回	65回	75回	85回	
実績値	38回	59回	109回				
(参考) 決算額	108,085円	50,270円	0円				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市内のイベントやスポーツ教室等が中止になったことから、貸し出し回数は基準値を大幅に下回った。また、破損したキンボールのインナーボール等を購入し、次年度の用具貸出に備えた。			パラリンピック後に、公民館や放課後デイサービス、社会福祉施設への「ポッチャ」の貸出が昨年の倍になった。他の用具の貸出も増えた。			
課題	コロナ禍においても、感染対策を講じながらイベント等でニュースポーツに取り組めるよう、引き続きニュースポーツ用具の貸し出しについて周知を行う必要がある。また、返却時に用具の破損が2回確認されており、市の負担となったことから、貸出前後の利用者との状態確認を徹底する。			トラブルの原因とならないよう、引き続き、貸出前後の用具の状態確認を徹底する。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	各地域でスポーツ活動が再開していく中で、用具の貸し出しも大幅に増加した。中でも手軽にできる割にゲーム性の高いモルック、ポッチャの人気が高かった。						
課題	個人でも扱えるノルディックポールは貸し出しが少なくまだ新しいまま保管されている。貸し出しできる用具についての周知の力を入れていく必要がある。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	24	取組名	市民スポーツ指導員養成講座の実施				担当課			
							生涯スポーツ課			
概要	市民スポーツ指導員の委嘱期間に合わせて3年ごとに養成講座を開催し、新たな指導員を養成します。									
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 ■施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8				□施策9 ■施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します		
目標	任期の更新に合わせ、3年に一度市民スポーツ指導員養成講座を開催し、新たな指導員を養成することで地域のスポーツ活動の担い手となるボランティアを育成します。養成講座の講義内容にニューススポーツを取り入れることで、ニューススポーツの普及を図り、市民が気軽にスポーツ・運動に取り組む機会を充実を図ります。									
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）			
養成講座受講者		人数を維持していれば進捗している			26人		26人			
目標値	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	—		—		26人	—	—		26人	
実績値	—		—		37人					
(参考) 決算額	—		—		640,247円					
評価	—		C		A					
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満									
成果	令和2年度				令和3年度					
	令和2年度実施なし。 令和元年度の養成講座により、新たに26人が指導員として活動を開始した。				令和3年度実施なし。 令和4年度の実施に向けて、従来から実施している「市内各施設・庁内のポスター掲示、HP、広報紙、Twitter」に加え、街角にある「広報掲示版へのポスター掲示、商工会議所広報紙へのチラシ折込、ならしの朝日・船橋よみうりへの掲載、市政広報用テレビモニターなど範囲を拡大して受講生募集を行った。					
課題	—				広報習志野4月1日号に掲載し、4月22日を募集締め切りとしたが、期限が短いとの意見があった。次回開催時は3月15日号への掲載を検討する。20代～40代に知っていただけるよう市内大学へのチラシ配付や市内各駅へのポスター設置等の新たな周知方法の検討も必要。					
成果	令和4年度				令和5年度					
	参加申込：38名、修了者37名 1名が途中辞退となったが、前回人数を上回る人数で修了することができた。20代～70代の受講生37名は、現役指導員による市民スポーツ指導員の歴史やニューススポーツを中心とした実技の他、外部講師によるノルディックウォークや体幹トレーニング等を学んだ。									
課題	受講者数（修了者数）増に向けて指導員自体の認知度を高めるための情報発信方法の検討はもちろん、途中辞退者が出ないよう講座内容の充実を検討する必要がある。具体的には現役指導員やスポ推が複数名で各グループの講師となるカリキュラムは、担当講師によって競技ルールなど教える内容が異なるよう事前の確認が必要である。									
成果	令和6年度				令和7年度					
課題										
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点						

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	25	取組名	体力・運動能力測定事業の実施			担当課
						生涯スポーツ課
概要	5年に一度実施する成人と高齢者を対象とした体力・運動能力調査を実施します。					
該当施策	柱①	するスポーツの推進	柱②	みるスポーツの推進	柱③	支えるスポーツの推進
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 ■施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します	施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを旨します	施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを旨します
目標	多くの市民に体力測定に参加していただくことで、自身の体力の現状や、日頃のスポーツや運動の成果等を知っていただき、より効果的な運動実施を図ります。（県の調査に合わせて実施し、次回実施は令和6年度予定）					
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）	最終目標値（令和7年度）	
参加者数		人数が増えているれば進捗している		97人	140人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	—		—	—	140人	—
	—		—	—		
	—		—	—		
実績値	—		—			
	—		—			
評価	—		C	C		
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満					
成果	令和2年度			令和3年度		
	—			—		
課題	—			—		
	—			—		
成果	令和4年度			令和5年度		
	—			—		
課題	—			—		
	—			—		
成果	令和6年度			令和7年度		
	—			—		
課題	—			—		
	—			—		
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点		

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	26	取組名	健康づくり推進協議会主催「習志野発見ウォーク」の開催				担当課
							健康支援課
概要	ウォーキングマップの作成やウォーキングイベントの開催などを通じて、市民の健康づくりをサポートする。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	<input type="checkbox"/> 施策1 <input type="checkbox"/> 施策2 <input type="checkbox"/> 施策3 <input checked="" type="checkbox"/> 施策4 <input checked="" type="checkbox"/> 施策5		<input type="checkbox"/> 施策6 <input type="checkbox"/> 施策7 <input type="checkbox"/> 施策8		<input type="checkbox"/> 施策9 <input type="checkbox"/> 施策10 <input type="checkbox"/> 施策11 <input type="checkbox"/> 施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを旨指します		
目標	ウォーキングマップの活用や習志野発見ウォークへの参加を通じて市民が健康づくりに取り組むことができる。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値		最終目標値（令和7年度）	
①マップの作成数 ②発見ウォークの開催回数		マップの作成数又は発見ウォークの開催回数が維持することが進捗している		新規事業		①4回 ②3回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①4回 ②3回	①4回 ②3回	①4回 ②3回	①4回 ②3回	①4回 ②3回	
実績値	①1回 ②0回	①3回 ②0回	①1回 ②1回				
(決算額)	4,998円	34,161円	14,881円				
評価		B	C				
《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満							
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、習志野発見ウォークは中止となった。習志野発見ウォークのコースのマップを作成し、広報やHP等で周知、市庁舎やヘルスステーション等の窓口で配布し、市民が個人で健康づくりができるよう努めた。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、習志野発見ウォークは令和2年度に引き続き中止となったが、習志野発見ウォークのマップを3コース作成し、広報やHP等で周知、市庁舎やヘルスステーション等の窓口で配布した。ウォーキングマップは好評のため増刷しており、市民の健康づくりに活用されている。			
課題	新しい生活様式に合わせた習志野発見ウォークの開催方法について検討が必要。			新しい生活様式に合わせた習志野発見ウォークの開催方法について検討が必要。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	習志野発見ウォークの開催に向けて試し歩きを実施すると共に、ウォーキングマップを作成した。習志野市健康づくり推進員が作成したウォーキングマップを使用した習志野発見ウォークを開催することができた。						
課題	ウォーキングの参加者に体力低下がみられた。コースにより参加者が限られることから、ウォーキングに参加できない市民が身近な場所で参加できるフレイル予防の取り組みが必要である。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	27	取組名	健康なまち習志野推進月間の実施				担当課
							健康支援課
概要	市民1人ひとりが健康に対する意識を高め、健康的な生活を自ら選択し、主体的に取り組むことを目指して、毎年11月を健康なまち習志野推進月間と定め、健康フェアの開催や啓発活動を実施する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
		□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 ■施策5		□施策6 □施策7 □施策8		柱③	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
施策目標値			施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します			
目標	市HPや広報、チラシを活用した情報発信により、健康フェアの開催を幅広く周知し、来場者数の増加を図る。 健康づくりをサポートする様々なイベントを通じて、健康に対する意識を高める。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
健康フェア来場者数		人数が増えているれば進捗している		2,050人		2,075人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		2,055人	2,060人	2,065人	2,070人	2,075人	
実績値	—	—	—				
(参考) 決算額	—	—	—				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			
課題	次年度以降については、新しい生活様式に合わせた内容での実施を検討していく必要がある。			令和4年度については、新しい生活様式に合わせた内容での実施を検討していく必要がある。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 市庁舎1階展示スペースで、成人高齢者保健係が生活習慣病予防等への啓発を目的にパネル展示を行った。						
課題	健康なまち習志野推進月間にあわせて開催している「健康フェア」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から4年度まで中止となった。この間の担当者の入れ替わりにより、本イベントの経験者が少ない。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	28	取組名	健康に関する講座				担当課
							中央公民館
概要	成人対象の健康に関する講座や地区学習圏会議主催による講座等を実施する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進	柱②	みるスポーツの推進	柱③	支えるスポーツの推進	
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 ■施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します	施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを旨します	施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを旨します	
目標	成人を対象として公民館や地区学習圏会議主催による健康に関するプログラムを実施する。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）	最終目標値（令和7年度）		
①健康に関するプログラム回数 ②健康に関するプログラム参加人数		①回数が増えれば進捗している ②人数が増えれば進捗している		①34回 ②687人	①36回 ②720人		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		①35回 ②700人	①35回 ②700人	①35回 ②700人	①36回 ②720人	①36回 ②720人	
実績値	①15回 ②266人	①28回 ②430人	①34回 ②553人				
(参考) 決算額	80,000円	241,000円	326,000円				
評価		C	B				
《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満							
	令和2年度			令和3年度			
成果	健康のための体操や散歩などを実施した。参加者は、楽しく運動を行うことができた。			健康のための体操やノルディックウォーク、太極拳などの講座を実施した。参加者は、楽しく運動することができ、また、運動を実施・再開するきっかけづくりをすることができた。			
課題	コロナ禍で講座全体が減少し、体を動かす講座も減少した。次年度以降については、安全に配慮しつつ、実施回数を増やしていく。			感染対策を講じて、体を動かす講座を実施することができた。次年度以降も引き続き、感染対策を講じ、実施回数、定員を増やしていく。			
	令和4年度			令和5年度			
成果	リズム体操、グラウンドゴルフ、リトミック、レクリエーションスポーツ、ウォーキング、散歩、椅子に座って無理なくできるストレッチ等、各館が工夫して取り組んだ。参加者は、楽しく運動を行い、また、運動を実施・再開するきっかけづくりにもなり、満足度が高かった。						
課題	コロナ禍による外出控えで参加者が減少した。暑さ対策や幅広い年齢層の参加を考慮して開催時期や曜日を選定する必要がある。						
	令和6年度			令和7年度			
成果							
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	29	取組名	市内で活動しているトップチーム等の試合開催の支援				担当課	
							生涯スポーツ課	
概要	市内等で活動しているトップチーム（オービックシーガルズのXリーグ、千葉ロッテマリーンズのイースタンリーグ等）の試合開催に対して支援し、市民が身近にスポーツ観戦する機会をつくっている。							
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		■施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	市内で開催されるトップチームの試合について、HPや広報誌などで情報発信し、試合観戦者を増やします。（対象となる試合は、アメリカンフットボール、千葉ロッテイースタンリーグとする。その他、単年度のみ行われる特別な大会等があれば参考として別に記載する。）							
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
第一カッターフィールドと第一カッター球場におけるトップチーム等の試合観戦者数		試合観戦者数が増加すれば進捗している			5,045人		5,300人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		5,100人	5,150人	5,200人	5,250人	5,300人		
実績値	0人	1,000人	2,313人					
(参考) 決算額	-	-	-					
評価		C	C					
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満							
成果	令和2年度			令和3年度				
	観客を入れた試合は実施することができなかった。プロ野球やJリーグなどの試合運営など実証実験を行っているなかで、その実施方法を参考とし、秋津での有観客試合の実施にむけての課題を整理することができた。			観客を入れた試合がオービックシーガルズのホームゲームのみ（新型コロナウイルス感染症対策で収容人数の半数）となったため、目標値を下回る結果となった。今後も秋津での有観客試合の実施に向けて課題を整理していく。				
課題	次年度の試合開催に向け、更衣室・シャワーの使用やトイレの数など、コロナ対策における課題は多い。観客の入退場の動線や座席使用についても検討していく。			次年度の試合開催に向け、感染症対策における課題は多い。その他、現在の第一カッター球場の防球ネットに課題があり、イースタンリーグを開催できないことから、防球ネットの増設についての検討を進めていく。				
成果	令和4年度			令和5年度				
	第一カッターフィールドにてオービックシーガルズのホームゲーム1試合の他、Xリーグ4試合を有観客で開催した。また、サッカー関東大学リーグが5日間実施された。第一カッター球場の防球ネットの課題をクリアできず、イースタンリーグが開催できなかったこと、Xリーグの試合も5日中4日が雨天で客足が伸びず目標値を下回る結果となった。							
課題	第一カッター球場の防球ネットにおける課題解決は難しい。イースタンリーグ以外の試合を検討する。その他、オービックシーガルズの周知方法等の検討を行う。							
成果	令和6年度			令和7年度				
課題								
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点				

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	30	取組名	オービックシーガルズへの協力・支援				担当課
							産業振興課
概要	ホームゲーム開催に伴う、支援や広報活動を行う。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 ■施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	ホームゲーム等、試合開催に関する情報を、広報やHP、Twitter等にて発信することで、より多くの地域住民に競技会場で観戦してもらう。ホームゲーム時には、人的支援を行い、円滑に試合運営を行う。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
観客動員数		観客が増加していれば進捗している。		1,634人		2,000人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		1,650人	1,700人	1,800人	1,900人	2,000人	
実績値	—	約1,000人 <small>（※収容制限有り 詳細はコメント欄）</small>	1,346人				
（参考） 決算額	—	—	—				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。			新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策、収容上限や外周での出店関係に制限を設けた中での開催となり、令和3年度目標値に達することはできなかったが、当日の収容人数上限に対して約100%の観客を動員することができた。			
課題	来年度以降は、新しい生活様式に合わせて、地域住民が安心して現地観戦できるよう十分な感染症対策をした上で、試合開催をする必要がある。			引き続き感染症対策を講じた上で、新しい生活様式に対応したサブイベント等試合以外の部分でも、現地観戦を楽しめるものを検討していく必要がある。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	3年ぶりに人数制限が無い中での開催となったが、令和4年度目標値の来場者数に達することはできなかった。来場者については、コロナ対策のため、声援等に制限があるなかで、グッズの使用や拍手等による工夫をし、観戦を楽しむ姿が見られた。						
課題	アフターコロナでの開催（9月）となり、これまで以上に来場者を増やせるよう、商工会議所やリーグ運営者と協力し、試合以外にも体験型のサブイベントや出店の出店等により、スタジアムでの観戦を楽しめるよう企画を行ったが、雨天等もあってか観客数が伸びなかった。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	31	取組名	スポーツ大会、イベントの情報発信				担当課
							生涯スポーツ課
概要	市内で開催されるスポーツ大会やイベントの情報を発信できるようホームページや市広報等の充実を図ります。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 ■施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	効果的なスポーツ情報の発信により、市民がスポーツを観戦する機会の拡大を図ります。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
市ホームページのスポーツ欄のアクセス数		アクセス数が増えていれば進捗している		367回		400回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		200回	250回	300回	350回	400回	
実績値	173回	186回	1,777回				
(参考) 決算額	—	—	—				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	スポーツ大会・イベントについては広報紙、ホームページ等で周知を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの大会・イベントが中止になったことからアクセス数は目標値を大幅に下回った。			令和2年度に引き続き、スポーツ大会・イベントについては広報紙、ホームページ等で周知を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの大会・イベントが中止になったことからアクセス数は目標値を下回った。			
課題	コロナ禍において、大会・イベントの開催が少ないのはやむを得ないが、広報紙・ホームページ・ツイッター等複数の媒体を連携し、効果的な発信方法について検討していく。			コロナ禍において、大会・イベントの開催が少ないのはやむを得ないが、広報紙・ホームページ・ツイッター等複数の媒体を連携し、効果的な発信方法について検討していく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	市のHPが改修され、これまで集計していたページではなく、新しいページに移行したため、以前との正確な比較をすることができない。						
課題	引き続き、広報紙・ホームページ・ツイッター・LINE等複数の媒体を連携し、効果的な発信方法について検討していく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	32	取組名	ツイッターを利用した情報発信				担当課
							生涯スポーツ課
概要	ツイッターを利用し、イベント内容、日時等の周知を行う。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		■施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	イベント等を即時性や拡散力のあるツイッターで情報発信し、多くの市民がスポーツに触れる機会を増やす。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
ツイッターでの投稿数		投稿数が増えていけば進捗している		2回		20回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		5回	8回	12回	16回	20回	
実績値	26回	25回	37回				
(参考) 決算額	—	—	—	—	—	—	
評価		A	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未滿						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の大半が昨年同様中止となってしまったが、その分、本市にゆかりのあるスポーツ選手や大会等の応援・紹介ツイートを実施し、最終目標値を超えるツイートを行うことができた。			昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の大半が昨年同様中止となってしまったが、本市にゆかりのあるスポーツ選手や大会等の実績を写真と一緒に投稿したり、試合を実況するような投稿をしたりすることで、目標値を超えることができた。			
課題	ツイート数では目標を達成できたため、ツイートの質を上げるとともに、他方面でのツイートが出来ないかを検討していく。			今年度は、様々なイベントや大会等が行われることが予想されるため、写真付きの投稿等を行うことで、より興味が湧き、目に留まるツイートができるよう検討をしていく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されたため、奨励大会も開催することができ、その様子を伝えるツイートができた。また、本市を本拠地とするオービックシーガルズに関するツイートを積極的に行ったため、目標値を超えることができた。						
課題	オービックシーガルズのみならず、本市にゆかりのあるアスリートたちについてツイートしたり、奨励大会の告知や、総合型地域スポーツクラブの活動の紹介などを検討していく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	33	取組名	転倒予防体操推進員の育成・活動支援				担当課	
							高齢者支援課	
概要	寝たきりの主な原因のひとつである転倒・骨折を予防するために、「てんとうむし（転倒無視）体操」の普及を行う転倒予防体操推進員を養成し、転倒予防体操推進員に対して身近な地域で主体的な活動ができるよう支援及び研修を実施し、転倒予防体操推進員に対し補助金を交付する。							
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			■施策9 ■施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	定期的に転倒予防体操推進員を養成及び支援を実施し、地域で主体的な活動ができる転倒予防体操推進員が増え、長年活動し卒業する転倒予防体操推進員がいても世代交代が行われ、転倒予防体操推進員活動が維持される。							
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①新規登録者数 ②転倒予防体操推進員数		①維持することが進捗している ②維持することが進捗している			①15人 ②127人		①10人 ②128人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
		①10人 ②128人	①10人 ②128人	①10人 ②128人	①10人 ②128人	①10人 ②128人		
実績値	①7人 ②126人	①11人 ②137人	①10人 ②129人					
（参考） 決算額	515,000円	578,005円	646,798円					
評価		B	A					
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未滿							
成果	令和2年度			令和3年度				
	コロナ禍のため予定していた一般公募は中止し推薦者のみ養成講座を実施。参加者7人全員が新規登録者となった。			例年の養成講座は15人の募集で実施していたが、10人に縮小して実施。11人参加し全員新規登録となった。補助金は、介護予防・日常生活支援総合事業補助金に一本化し、補助金の充足化を図った。				
課題	推薦者であったが地区活動に対する意識の個人差があった。養成講座終了後の活動支援の必要性を再認識した。			活動自粛などで思うような活動ができない推進員に対し活動意義を見出すための支援や、世代交代のため長年の功績に対する評価方法について検討していく。				
成果	令和4年度			令和5年度				
	養成講座には12人が参加し10人が新規登録となった。補助金は、新規申請団体が2団体あり、前年度から継続している12団体と合わせ計14団体に交付した。感染対策に取り組みながら各地区会や研修会を開催し、転倒予防体操推進員活動を支援した。							
課題	転倒予防体操推進員の高齢化が課題である。新規推進員の養成および講座終了後の活動を支援する共に、既存の団体についてはそれぞれの団体の考えに合わせた活動支援を実施していく。							
成果	令和6年度			令和7年度				
課題								
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点				

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	34	取組名	健康づくり推進員の育成・活動支援				担当課
							健康支援課
概要	健康づくりに関する研修会、学習会の開催						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		■施策9 ■施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	栄養や運動等健康づくりに関する研修会を開催し、推進員活動に生かせるよう支援する。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和2年度）		最終目標値（令和7年度）	
健康づくり推進員支援回数（研修会等を含む）		健康づくり推進員支援回数を維持することが進捗している		活動支援回数12回		活動支援回数12回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		活動支援回数12回	活動支援回数12回	活動支援回数12回	活動支援回数12回	活動支援回数12回	
実績値	活動支援回数12回	活動支援回数45回	活動支援回数54回				
(参考) 決算額	4,998円	34,161円	14,881円				
評価		A	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動ができない状況が続いた。フレイル予防についての研修会を実施し、食事と運動の必要性について説明し、身近な人への伝達を図った。			健康づくり推進員養成講座を開催し、新たに7人が健康づくり推進員の登録をした。養成講座を活用し、健康づくりと運動、ヘルスプロモーション等について学習する機会を設けた他、YouTubeを活用した研修の案内を行った。定例会議の他、通知、電話等での支援を行った。			
課題	健康づくり推進員が高齢化しているため、新規推進員の養成が必要。			養成講座を行ったが、登録取り消し者もいる。新しい生活様式を取り入れた健康づくり活動支援と、健康づくり推進員の育成が必要となっている。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	骨粗鬆症やフレイル予防について、栄養や口腔に関する内容をとり入れて研修会を開催した。また、発見ウォークの開催に向けて試し歩きを実施し、準備体操やコースの確認、歩く際の注意点等について確認した。						
課題	ウォーキングだけでなく、健康づくりのための運動として、フレイル予防についての学習や研修を進めていく必要がある。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	35	取組名	大学との連携協働による健康なまちづくりの推進				担当課
							健康支援課
概要	本市と「連携協働に関する協定」を締結した順天堂大学の協力により、大学が保有する人的・知的資源を活用した、連携協働による健康づくり・体力づくりに取り組む。小学校高学年（4・5・6年生）を対象に、子どもが正しい生活習慣について考え、体を動かすことの楽しさを知って運動習慣を身につけるきっかけをつくることで、将来的な生活習慣病を予防するとともに、学外における他者とのふれあいによって社会性を高め、より健康で幸せな生活を送るための学びの機会を提供する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
		<input type="checkbox"/> 施策1 <input type="checkbox"/> 施策2 <input type="checkbox"/> 施策3 <input type="checkbox"/> 施策4 <input type="checkbox"/> 施策5		<input type="checkbox"/> 施策6 <input type="checkbox"/> 施策7 <input type="checkbox"/> 施策8		<input type="checkbox"/> 施策9 <input type="checkbox"/> 施策10 <input checked="" type="checkbox"/> 施策11 <input type="checkbox"/> 施策12	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
施策目標値			施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを 目指します			
目標	こども健康大学の開催についてHPや広報等で情報発信、市内の小学校にチラシを配布することで広く周知し、参加者の増加に努める。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
参加人数		参加者が増加していれば進捗している。		49人		60人	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		49人	50人	53人	57人	60人	
実績値	—	—	27人				
（参考） 決算額	—	—	—				
評価		C	C				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未滿						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。			
課題	次年度以降については、新しい生活様式に合わせた内容での実施を検討していく必要がある。			令和4年度については、新しい生活様式に合わせた内容での実施を検討していく必要がある。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学施設が利用できず連携協働事業については中止となった。規模を縮小し、オービックシーガルズによるスポーツ教室及び栄養士・歯科衛生士（市職員）による座学を実施した。						
課題	次年度については関係機関と連携を図り、実施に向け取り組んでいく。コロナ禍の3年の間に本市、関係機関の職員等がすべて入れ替わっていることから事業目的、実施体制などしっかり理解し進めていく必要がある。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	36	取組名	学校体育施設（プール含む）の開放				担当課	
							生涯スポーツ課	
概要	土・日曜日、及び休日に市内各小学校体育施設の開放を実施する。 夏季休業中に市内各小学校のプール開放を実施する。							
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進
	■施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5			□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 ■施策11 □施策12	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をするをを指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	市立小学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で運動の場として地域住民へ提供することにより、スポーツに親しむ機会を与え健康の増進と明るいまちづくりに役立てる。							
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
①開放回（日）数 ②利用者数		①日数を維持することが進捗している ②利用者を維持することが進捗している			学校体育施設 ①開放回数 1,624回 ②参加者 201,517人 学校水泳プール ①開放回数 36日 ②参加者数 3,957人		学校体育施設 ①開放回数 1,624回 ②参加者 201,517人 学校水泳プール ①開放回数 36日 ②参加者数 3,957人	
目標値	令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		学校体育施設 ①開放回数 1,600回 ②参加者 201,000人 学校水泳プール ①開放回数 35日 ②参加者数 3,900人		学校体育施設 ①開放回数 1,600回 ②参加者 201,000人 学校水泳プール ①開放回数 35日 ②参加者数 3,900人	学校体育施設 ①開放回数 1,600回 ②参加者 201,000人 学校水泳プール ①開放回数 35日 ②参加者数 3,900人	学校体育施設 ①開放回数 1,600回 ②参加者 201,000人 学校水泳プール ①開放回数 35日 ②参加者数 3,900人	学校体育施設 ①開放回数 1,600回 ②参加者 201,000人 学校水泳プール ①開放回数 35日 ②参加者数 3,900人	
実績値	学校体育施設 ①開放回数 1,383回 ②参加者 162,650人 学校水泳プール 未実施	学校体育施設 ①開放回数 1,527回 ②参加者 186,793人 学校水泳プール 未実施		学校体育施設 ①1,782回 ②223,096人 学校水泳プール ①開放回数 25日 ②参加者数 1,322人				
決（参 算考 額）	学校体育施設 320,000円 学校水泳プール 0円	学校体育施設 320,000円 学校水泳プール 0円		学校体育施設 320,000円 学校水泳プール 4,708,000円				
評価	C		C					
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満							
成果	令和2年度				令和3年度			
	体育館・グラウンドの開放は感染症対策のため6月14日まで事業を中断していたものの15日より再開。各学校とも少年から一般まで多くの利用団体が学校体育施設を利用し、スポーツ活動等が行われた事でスポーツが推進された。 プール開放については、感染症対策のため事業を中止とした。				コロナ禍でも、利用団体ごとに感染症対策を施し、活動を行った。各地区において少年から一般まで多くの利用団体が活動を実施しており、市内のスポーツは推進された。			
課題	プール開放については感染症対策のため事業実施を中止としたため、次年度、開催できる場合には周知を行っていく。また、学校開放については、引き続き感染症対策をしっかりと行い実施していく。				学校体育施設の開放については、今後も感染状況に合わせた対策を取り実施していく。プール開放については、各学校での水泳学習とも歩調を合わせ、実施できるよう準備していく。多くの方が参加できるよう開催地区も検討していく必要がある。			
成果	令和4年度				令和5年度			
	学校体育施設の開放に関しては、開放回数、参加者数と目標値を超えることができた。しかしながら学校水泳プール開放は再開できたものの、開放回数、参加者数は人数制限しての実施、施設の故障のため目標値を下回ってしまった。							
課題	学校体育施設の開放に関しては、引き続き同様の対応をしていき、学校水泳プールは、開催されていることを知っていただくために周知を行っていく。							
成果	令和6年度				令和7年度			
課題								
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点				

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	37	取組名	公共建築物再生計画の実施				担当課	
							生涯スポーツ課	
概要	公共建築物再生計画に掲載されている施設の改修等を検討するとともに、袖ヶ浦スポーツゾーン構想を含め、官民連携による公共施設再生など、調査研究を行い、適切な改修を行う。							
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 □施策10 □施策11 ■施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します
目標	官民連携事業手法を用いた改修について調査研究を行い、実践する。							
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
調査研究を行った官民連携事業手法の内容		実施の有無			なし		官民連携事業手法により改修を実施する。	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値		秋津地区のスポーツ施設改修について基本計画の策定を行う。	第二次公共建築物再生計画中間見直しにて前倒しを要望する。					
実績値	秋津公園とスポーツ施設等一体的再整備の官民連携事業手法等調査業務委託を実施し、コンセッション方式での事業可能性について検討を行った。	秋津サッカー場・秋津野球場等の再整備基本方針を策定した。	前倒しは認められず、人工芝化と建築物の老朽化対策を分けて考える方針が示された。					
（参考） 決算額	13,982,555円	11,999,999円	0					
評価		B	B					
《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満								
	令和2年度			令和3年度				
成果	秋津公園とスポーツ施設等一体的再整備の官民連携事業手法等調査業務委託を実施し、コンセッション方式での事業可能性について検討を行った。			R2年度調査結果より、事業範囲を秋津公園内のスポーツ施設等に限定した。再整備計画を策定予定であったが、庁内各種会議の結果、教育委員会における方針策定に留めることとなった。また、R3年度中に見直された生涯学習施設整備計画では秋津サッカー場と秋津野球場の改修時期について前倒しでの実施の検討を明記しており、第2次公共建築物再生計画等の見直し時には本方針との連携を図っていただくよう依頼した。				
課題	民間事業者へのヒアリングの結果、コンセッション方式での改修は不可能であることが判明した。一方で、PFI方式での事業可能性が示唆されたことから、今後はPFI方式での整備について検討を進めていく。			策定した方針に基づく整備を検討する。				
	令和4年度			令和5年度				
成果	第2次公共建築物再生計画の見直しによる工期前倒しは認められなかったが、人工芝化については、建築物ではないため、再生計画とは切り離して進めることが示された。							
課題	民間活力の活用などの再整備の方向性を整理した上で、R7の本見直しに前倒しを再度依頼する。人工芝化を先行実施できるよう検討する。							
	令和6年度			令和7年度				
成果								
課題								
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点				

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	38	取組名	スポーツ振興協会への活動支援				担当課		
							生涯スポーツ課		
概要	各種スポーツ教室やイベントの開催及び公民館や幼稚園等へ協会職員を派遣し、実技指導や講義を実施するなど、市民の体力向上と本市のスポーツ推進に寄与している協会に対し、スポーツ振興協会活動費等補助金の交付要綱に基づき補助金を交付するもの。								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	■施策1 ■施策2 □施策3 ■施策4 ■施策5		□施策6 □施策7 ■施策8				□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します	
目標	習志野市民一人ひとりが生涯にわたり親しむ豊かなスポーツライフの実現を目指すべく、当該財団のスポーツの普及及び推進に関する事業に対し補助金を交付し必要な支援を行う。								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）		
①補助金実績額		補助金の金額が増えていけば進捗している。			59,267,187円		61,449,000円		
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
		61,449,000円 (令和3年度予算額)	62,228,000円 (令和4年度予算額)						
実績値	59,348,950円	60,818,124円	58,004,854円						
(参考額)	59,348,950円	60,818,124円	58,004,854円						
評価	A		A						
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未達								
成果	令和2年度			令和3年度					
	スポーツ振興協会活動費等補助金として59,348,950円交付した。これにより当該協会は10種目のスポーツ教室を行い延べ1,798人が参加した。また、イベント・大会等の講師派遣として7件の事業に携わり、当該事業の参加者は延べ1,258人であった。			スポーツ振興協会活動費等補助金として60,818,124円交付した。これにより当該協会は11種目のスポーツ教室を行い延べ1,173人が参加した。また、イベント・大会等の講師派遣として9件の事業に携わり、当該事業の参加者は延べ3,092人であった。					
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった教室や、大会があり、例年よりも参加者の落ち込みが見られた。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった教室や大会もあったが、時期や実施方法を検討し、昨年度よりも参加者を増やすことができた。					
成果	令和4年度			令和5年度					
	スポーツ振興協会活動費等補助金として58,004,854円交付した。これにより当該協会は10種目のスポーツ教室を行い延べ2,362人が参加した。また、イベント・大会等の講師派遣として5件の事業に携わり、当該事業の参加者は延べ1,488人であった。さらに、新たにストレッチや簡単な運動の動画を作成し、配信を行った。								
課題	今年度、開催できなかったイベントや人数制限を設けたイベント等について、再度、運営方法等を検討し、開催する。								
成果	令和6年度			令和7年度					
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	39	取組名	健康マイレージの実施				担当課
							健康支援課
概要	誰もが健康で幸せな生活を送ることができるよう、健康的な生活習慣の動機付け、その継続と定着を後押しする。日々の運動や地域活動に参加するなど健康習慣につながる活動を行うことでポイントを獲得し、3か月間で「イベントポイント・セルフポイント」合わせて100ポイント以上獲得すると「健康きらっとナラシド」カード（以下サービスカード）の交付を申請でき、このカードを協力店に提示すると各店舗独自の特典（サービス）が受けられる。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	<input type="checkbox"/> 施策1 <input type="checkbox"/> 施策2 <input type="checkbox"/> 施策3 <input type="checkbox"/> 施策4 <input checked="" type="checkbox"/> 施策5		<input type="checkbox"/> 施策6 <input type="checkbox"/> 施策7 <input type="checkbox"/> 施策8		<input type="checkbox"/> 施策9 <input type="checkbox"/> 施策10 <input type="checkbox"/> 施策11 <input type="checkbox"/> 施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		
目標	広報誌、HP等で幅広い世代にPRし、サービスカードの発行枚数（参加者）の増加に繋げる。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和2年度）		最終目標値（令和7年度）	
サービスカードの発行枚数		発行枚数が増加していれば進捗。		13枚		40枚	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		20枚	25枚	30枚	35枚	40枚	
実績値	13枚	22枚	28枚				
(参考) 決算額	—	—	—				
評価		A	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症によるイベント等の中止によりポイントが貯めずらく、参加者が大幅に減少した。			令和3年度は新型コロナウイルス感染症によるイベント等の中止によりポイントが貯めずらい状況であったが、目標値を超えることができた。			
課題	若年層の参加が少ない為、実施方法等、新しい生活様式に合わせた内容への見直しが必要。			県の「元気！健康チャレンジ事業」において、令和4年度中にシステム化を検討している為、県の動向を確認しながら、連携に向けて事業の見直しが必要。（協力店の確認やポイントの見直しなど）			
成果	令和4年度			令和5年度			
	感染症拡大防止を念頭に入れながらイベント等も少しずつ開催されたが、ポイントが貯めずらい状況は依然変わらなかったものの、目標値を超えることができた。						
課題	千葉県「元気！健康チャレンジ事業」において、県のシステム化等、状況を確認し、連携に向けて事業の見直しが必要。（協力店の確認やポイントの見直し含む）						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	40	取組名	スポーツ団体等による市民まつりにおけるスポーツコーナー運営支援			担当課	
						生涯スポーツ課	
概要	市民まつりにおいて、スポーツ団体（スポーツ推進委員、市民スポーツ指導員、スポーツ少年団等）が運営しているスポーツコーナーの運営を支援します。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
		□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		■施策6 □施策7 □施策8		柱③	
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
施策目標値			施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します			
目標	ポケットボールやディスゲッターナイン等の難易度の低いスポーツを実施し、普段スポーツをしない人にも体験してもらう。また、多くの市民が交流する市民まつりで実施することで、市民まつり来場者のスポーツへの関心を高め、参加してもらう。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
参加人数 （大人、子ども）		人数が増えている進捗している		537人 （156人、381人）		570人 （170、400）	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		—	540人 （157人、383人）	550人 （160人、390人）	560人 （165人、395人）	570人 （170、400）	
実績値	—	—	602人 （146人、456人）				
（参考） 決算額	—	—	—				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症により市民まつりが中止となったことに伴い本取組も中止となった。			新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市民まつりが中止となったことに伴い本取組も中止となった。			
課題	コロナ禍でも実施できる競技を検討していく。			市民まつりが実施される場合は、感染防止対策に配慮しながら実施できる競技を検討していく。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	モルック、ポケットボール、ラダーゲッターを実施。子どもに関しては目標値を上回る人数に体験してもらうことができた。						
課題	大人は目標値まで到達していない。大人のスポーツへの関心を高めるための工夫が必要である。予想を上回る来場者数となり長い待ち時間が発生した。種目数に対しスタッフ数が足りない時間帯があった。種目数、運営方法を検討。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	41	取組名	千葉ロッテマリーンズへの協力・支援				担当課
							生涯スポーツ課
概要	習志野市デーの開催や千葉ロッテマリーンズの一軍の試合の市民招待、さらには、市内でイースタンリーグを開催し、市民のスポーツ観戦の充実を図っている。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 ■施策7 □施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	千葉ロッテマリーンズへの協力事業である、一軍試合の市民招待と市内でのイースタンリーグ開催を継続して行います。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
実施数		同数なら進捗している		2回		2回	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		1回	2回	2回	2回	2回	
実績値	1回	0回	2回				
(参考) 決算額	-	0回	市民招待2回				
評価		C	A				
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満						
成果	令和2年度			令和3年度			
	有観客での招待は行われなかったが、習志野市デーとしての一軍試合の開催は行われ、広報紙やホームページ等での周知を行った。規模縮小での開催となったが、コロナ禍の中、少しでも事業を行えたことは良かった。			習志野市デーとして6月24日の市民招待を行ない、習志野高校の演奏で盛り上げた。広報紙やホームページ等での周知を行った。			
課題	イースタンリーグの有観客試合は行われなかったため、次年度以降の開催に向け、球場のコロナ対策を進めていく。			イースタンリーグを行うためには、防球ネットの課題があり、実施に向けての検討を進める。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	ALL FOR CHIBAとして、5月・9月の一軍公式戦への市民招待について広報紙やホームページ等での周知を行った。						
課題	イースタンリーグを行うための防球ネット増設については費用対効果の面で課題が大きい。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	42	取組名	施設予約システムの充実				担当課
							生涯スポーツ課
概要	市民がいつでも施設の情報の取得や予約ができるよう、施設予約システムの充実を図るため、窓口のある各施設にPCの設置を行う。また、利用者からの意見・要望を聞き、システムのレベルアップ要望を県へ提出する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 ■施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	利用者からの意見・要望を聞き、適切なシステムのレベルアップ要望を県へ提出する。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
システムのレベルアップ要望を県へ提出する		提出の有無		提出		提出	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		提出	提出	提出	提出	提出	
実績値	提出	提出	提出				
（参考） 決算額	—	—	—				
評価		B	B				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未滿						
成果	令和2年度			令和3年度			
	利用者からの意見・要望を聞き、システムのレベルアップ要望を県へ提出することができた。			職員の利便性向上のためのレベルアップ要望を提出することはできたが、利用者からの要望を聞くことができなかった。			
課題	引き続き、利用者にとって使いやすいシステムとなるよう、次年度もレベルアップ要望を行っていく。			利用者からの要望を反映できるよう、日頃、予約システムへ寄せられているご意見等を取りまとめ、要望できるようにする。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	利用者の利便性向上のため、ネット上で登録手続きが完了するよう6件の要望を行った。						
課題	利用者と職員の利便性が向上するよう、次年度も引き続きレベルアップ要望を行っていく。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	43	取組名	東京2020オリンピック・パラリンピック関連施策の実施				担当課
							総合政策課
概要	東京2020オリンピック・パラリンピックにおいて、市内で予定されている聖火リレーの実施支援、サッカー公式練習会場の会場提供、学校連携競技観戦の支援、また、パラリンピック聖火リレー採火式等を実施する。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 ■施策8		□施策9 □施策10 □施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを 目指します		
目標	東京2020オリンピック・パラリンピック関連施策に取り組み、本大会が市民の記憶に残ることに努め、スポーツへの機運醸成を図ります。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）	
東京2020オリンピック・パラリンピックの市関連施策に参画した市民の人数（延べ人数）		人数が増えている進捗している		162人		2,000人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値		1,838人	-	-	-	-	
実績値	162人	252人	-	-	-	-	
(参考) 決算額	-	-	-	-	-	-	
評価		B	-	-	-	-	
《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未達							
成果	令和2年度			令和3年度			
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本大会が令和3年（2021年）に延期となったため、関連施策も実施していない。			新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック聖火リレーが中止、学校連携観戦チケットによる競技観戦が中止となった。また、サッカー公式練習会場における中学生による練習見学及びパラリンピック聖火リレー採火式は実施できたものの、感染症拡大の影響で規模の縮小や練習見学においては参加辞退が相次ぐなどの結果となった。			
課題	令和3年度で本大会が閉会したため、次年度以降に具体的な事業は予定していない。大会のレガシー創出に向けた取り組みについては、今後、検討が必要である。			令和3年度で本大会が閉会したため、次年度以降に具体的な事業は予定していない。大会のレガシー創出に向けた取り組みについては、今後、検討が必要である。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	令和3年度に本大会が閉会したため、具体的な事業の実施はしていない。						
課題	今後も東京2020大会関連施策の実施は予定されていない。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	44	取組名	スポーツボランティア活動の場や情報の提供				担当課		
							生涯スポーツ課		
概要	オービックシーガルズの試合、七草マラソン大会等の市内スポーツイベント・大会等で、市民がスポーツボランティアとして活躍できる場や情報を提供します。 〔オービックシーガルズの試合（6月、9月）、イースタンリーグ、七草マラソン、市民駅伝、市民まつり、障がい者スポーツ大会、高齢者スポーツ大会〕								
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		柱③	支えるスポーツの推進	
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8			□施策9 ■施策10 □施策11 □施策12			
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		施策目標値	市民の20%がスポーツボランティアなどの活動を経験することを目指します	
目標	スポーツボランティアが活躍できる場を提供し、「スポーツを支える」ことで感動や仲間とのコミュニケーションなどスポーツの持つ価値を享受する人を増やします。								
評価指標		評価指標に対する実績値の判断			基準値（令和元年度）		最終目標値（令和7年度）		
スポーツボランティアを依頼したイベント・大会数		イベント・大会数を維持していれば進捗している			8回		8回		
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
目標値		8回	8回	8回	8回	8回			
実績値	1回	0回	5回						
（参考） 決算額	—	—	—						
評価		C	C						
	《評価の凡例》 A…目標値達成 B…目標値未達成だが、進捗または現状維持 C…基準値未満								
令和2年度				令和3年度					
成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多数のイベントが中止になったことから依頼数は基準値を大幅に下回った。			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多数のイベントが中止になったことから依頼数は0件であった。					
課題	コロナ禍においても、感染対策を講じながら市民がスポーツボランティアとして活躍できる機会を提供できるよう、関係団体と協力していく必要がある。			コロナ禍においても、感染防止対策を講じながら市民がスポーツボランティアとして活躍できる機会を提供できるよう、関係団体と協力していく必要がある。					
令和4年度				令和5年度					
成果	市民マラソン、市民まつり、障がい者スポーツ大会、高齢者スポーツ大会、オービックシーガルズの試合（9月）の5回は、主催者より依頼を受け、情報提供し、それぞれボランティアが参加した。七草マラソン、イースタンリーグ、オービックシーガルズの試合（6月）は開催されなかった。七草マラソン、イースタンリーグは次年度以降も開催されない可能性が高い。								
課題	大会開催数の減少により、8回の維持が困難となった。今後は、市内でボランティアが必要となるような大会の開催、誘致を検討していくと共に、県内ボランティア募集についても積極的に情報収集し、周知していく必要がある。								
令和6年度				令和7年度					
成果									
課題									
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点					

習志野市スポーツ推進計画 評価シート

No.	45	取組名	ウォーキング等の環境の整備				担当課
							公園緑地課
概要	ハミングロードや谷津干潟遊歩道など、市民が気軽にウォーキングやランニングに取り組める環境を整備します。						
該当施策	柱①	するスポーツの推進		柱②	みるスポーツの推進		
	□施策1 □施策2 □施策3 □施策4 □施策5		□施策6 □施策7 □施策8		□施策9 □施策10 ■施策11 □施策12		
	施策目標値	市民の60%が週1回以上スポーツや運動を行うことを目指します		施策目標値	市民の40%が競技会場でスポーツ観戦をすることを目指します		
目標	ハミングロードや谷津干潟遊歩道など、市民が気軽にウォーキングやランニングに取り組める環境を継続的に整備していく。						
評価指標		評価指標に対する実績値の判断		基準値		最終目標値（令和7年度）	
ハミングロードを整備した距離		距離数が目標値以上であれば進捗している		新規事業		100m	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		100m	100m	100m	100m	100m	
実績値	137m	0m	※路面補修等を7件実施				
（参考） 決算額	9,570,000円	0円 4,865,300円	4,130,830円				
評価		C	B				
	《評価の凡例》 A…目標値達成    B…目標値未達成だが、進捗または現状維持    C…基準値未滿						
成果	令和2年度			令和3年度			
	菜々の湯前（本大久保1丁目560番1地先）の園路の整備及びガードパイプなどの安全対策を行った。			公園維持管理事業等で、路面補修及び植栽等を行った。			
課題	継続的な予算の確保が課題となる。			継続的な予算の確保が課題となる。			
成果	令和4年度			令和5年度			
	公園維持管理事業等で、路面補修等を7件行った。 ハミングロード（ダスト舗装300㎡、健康遊具補修、公園灯交換工事、遊歩道補修） 菊田遊歩道（照明灯設置・補修） 茜浜緑地（園路補修）						
課題	継続的な予算の確保が課題となる。						
成果	令和6年度			令和7年度			
課題							
施策目標値に対する総合評価				次期計画に向けての改善点・留意点			